

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-97	中学校	音楽科	音楽（一般）	第2・3学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	音楽017-83 音楽017-84	中学音楽2・3上 音楽のおくりもの 中学音楽2・3下 音楽のおくりもの		

1. 編修の基本方針

「学びのチカラで 人と社会を 未来へつなぐ」

自ら問い、考え続け、社会を創っていく子どもたちを育てたい。
そのような思いをこめて、私たちはこの教科書をつくりました。



心を豊かに満たす音楽 響きはつながり、羽ばたいてゆく

「中学音楽2・3上下 音楽のおくりもの」は、教育基本法及び学校教育法の内容や、さまざまな教育課題に対応すべく、「音楽を愛好する心情を育み、豊かな情操を養う教材と学習を設定する」「学習の見通しがもて、学びを深める」「先生方と生徒の一人一人に寄り添って、ご授業を支える」。これら三つの観点を基本方針として編修にあたりました。

特色 1

音楽を愛好する心情を育み、
豊かな情操を養う教材と学習を設定しています。

音楽的な見方・考え方を働かせ、イメージや感情の羽ばたきを促すページ構成と、音楽文化と豊かに関わりながら学びを進められる内容の工夫を施しました。

特色 2

学習の見通しがもて、学びを深めます。

資質・能力を育むために精選された教材と、適切な学習の進め方を示すことで、主体的・協働的な学びを深められるようにしました。

特色 3

先生方と生徒の一人一人に寄り添って、ご授業を支えます。

さまざまなご授業の実態に応じてお使いいただけるよう、ユニバーサルデザインに配慮し、学習内容をわかりやすい文言と美しいビジュアルで表現しました。

音楽を愛好する心情を育み、
豊かな情操を養う教材と学習を設定しています。

イメージや感情の羽ばたきを促し、音楽的な見方・考え方を働かせた学習を推進するページ

SDGs

「質の高い教育を
みんなへ」と関連

世界的な指揮者からの〈音楽的な見方・考え方を働かせた学び〉に関わるメッセージを紹介。



音楽はメッセージ



音に対する感受性が 膨らむと「想像力の羽ばたき」 が始まります。

指揮者 大村和士

〒505-8515 (徳島県鳴門郡海部町) 上の関係者にお申し込みください。

最初の夢

音楽会を主催するときに「みんな大きくなったか何にしたい?」という先生の問いに、私は「指揮者!」と答えました。その頃、父がレコーで聴かせてくれた「ベートーヴェンの『交響曲第3番』」の演奏に、音楽の内面はほかかなったけれどすごく感動し、それが「指揮者になりたい」という気持ちにつながったのだと思います。

指揮者への道

私の中学校のときにフットボールを辞めていたので、中学校では吹奏楽団に入りました。楽器は笛と、これからは大きな声を出させてもらおうとホルンをやることにしました。ホルンには憧れていました。指揮者という仕事を志したのも中学校のときで、高校2年生から専門の先生について勉強を始めました。

最初のうちは、教科書に載っているような指揮の図形などは覚えてくれなくて、代わりにさまざまな歌曲のピアノパートを弾きながら、歌のパートを覚えようにと頑張っていました。これは、ピアノを知りたくて音楽家を目指す、自分ひとりで理解しようとするという気持ちからです。指揮者は、音楽の心を伝えて表現するので、その音楽を客観的に聴いて考えることが同時に必要になっていきます。そのためにも必要と訓練だったので。



音楽のチカラ

私は「音楽のチカラとは何か?」と問われたら「無数の想像力を持つこと」と言えます。作曲家の頭の中の世界や、その人の生き様など、ときには文字だけでは伝わりきれないところに感じたりすることがあるかもしれませんが、そういうイメージが湧いてくると、それまでになかったようなことになりやすい。音楽に刺激を受けて、そんなチカラが音楽にはあると思います。

好きな音楽を聴くと、旋律を一瞬に吸ってみたいくなりますよね? 歌っている人、リズムや音の質といった要素が、耳を通して頭から身体の中に浸ります。そのすると自分の中で音が流れている受容が自然と人々へ、想像力が羽ばたきます。音楽の力はほほえましいことだと思います。



大村和士

1989年にふくおか国際音楽祭コンクールで優勝し、1990年にザンクト・ペテルスブルグ（ロシア）の音楽院に入学。これを皮切りにドイツ、ベルギー、フランス、スペインなどの異なる文化圏やオーケストラの音楽監督を務め、さまざまな作品を発表する。2013年からは東京・都立音楽館の音楽監督、2014年から国府川音楽院（東京都）のオペラ音楽監督に就任した他、子どものための演奏会に関わるなど、多岐分野の人々に広く音楽を届ける活動を行っている。



子どもたちの演奏会「JOKO オークストラ」では、子どもが大人と一緒に指揮をしています。
(2022年3月撮影)

交響曲第3番 変イ長調 第三楽章

2

下卷p.2-3

音楽文化と豊かに関わりながら学びを広げる内容

笙の名手からの〈伝統文化との関わり方〉についてのメッセージを紹介。

関連する鑑賞教材

[illegible]

上卷 p. 48-50

With My Heart
音楽はメッセージ

聖ミオーケストラのちのちの「モリモニアム」(試演「舞台曲」)の演奏

宮田幸夫

音楽「舞台曲」のような古典だけではなく、現代音楽の演奏やオーケストラとの共演、そして形骸化による演奏会を脱くなど、厚の可能性を追求し、この事業を世界に広めてきた演奏家、音楽時代劇から、舞台、音楽時代にかかわって、古い時代の作品の数々に振り回されている。

音楽にかけた演奏家

音楽「舞台曲」 p. 48

上卷p.2-3

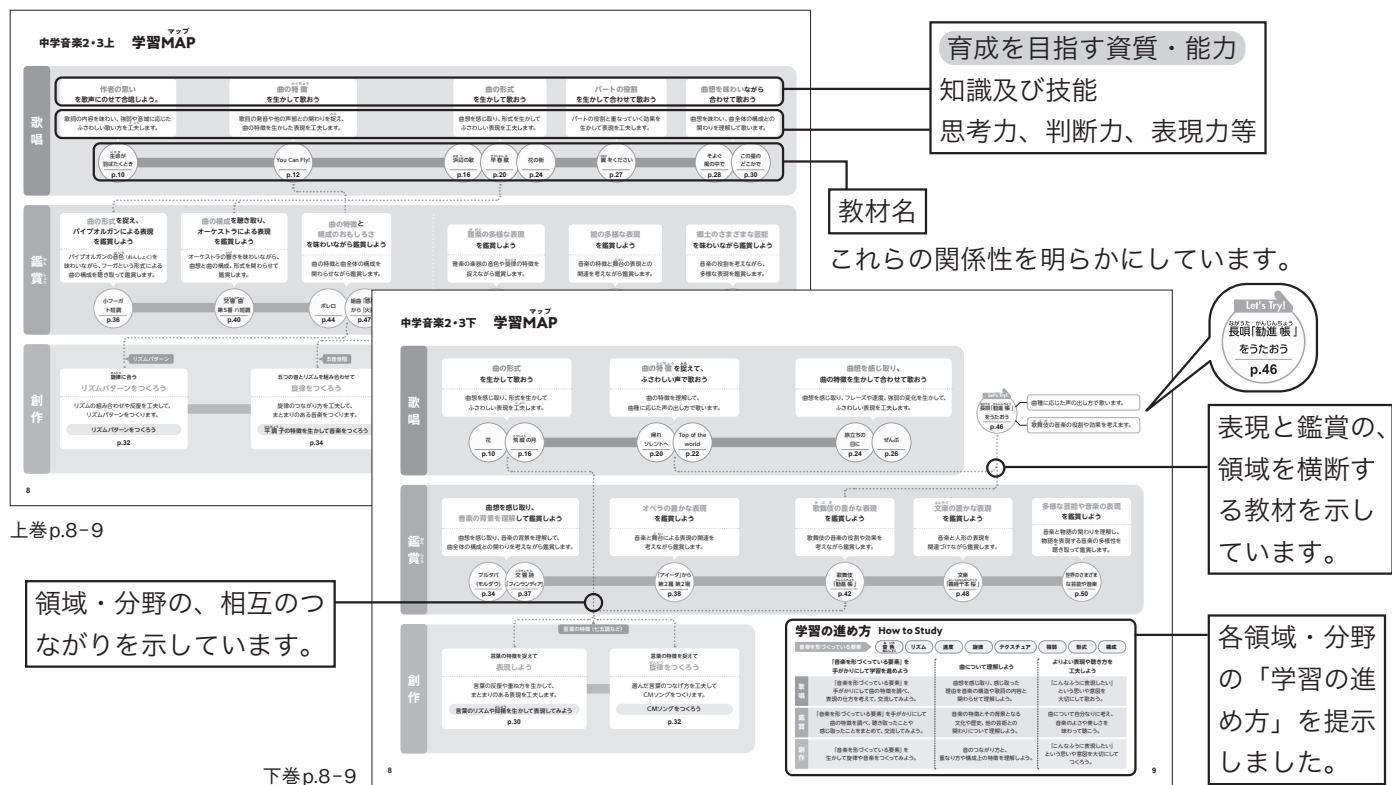
関連する表現教材

[illegible]

上卷p.51

学習の見通しがもて、学びを深めます。

教科書冒頭に教材と適切な学習の進め方を提示し、主体的・協働的な学びを深める



先生方と生徒の一人一人に寄り添って、ご授業を支えます。

学習内容を、美しいビジュアルとユニバーサルデザインに配慮した紙面で表現

[illegible]

用語や記号など（新出）

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
〈教材選定における配慮〉	○幅広い知識と教養、豊かな情操を培えるように、我が国及び諸外国の音楽から、さまざまな時代や曲種のものを選び、音楽のもつ多様なよさや面白さを感じ取ることができるように配慮しました。(第1号)	・全学年
〈教材の配列と扱いにおける配慮〉	○生徒一人一人がその能力を伸ばし創造性を培えるように、教材の配列や扱いに配慮しました。(第2号)	・全学年
巻頭 「With My Heart 音楽はメッセージ」	○著名な音楽家からのメッセージなどを掲載し、生徒の豊かな情操の育成に配慮しました。(第1号)	・上巻p.2-3 ・下巻p.2-3
	○個人の価値を尊重し、音楽家を職業として意識できるメッセージを掲載しました。(第2号)	・下巻p.2-3
	○伝統を尊重し、未来へつなぐことを示すメッセージを掲載しました。(第5号)	・上巻p.2-3
〈歌唱〉	○合わせて歌う活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる点を重視しました。(第3号)	・上巻p.10-13、 p.27-31、 p.68-85 ・下巻p.12-15、 p.22-27、 p.70-85
	○自他の敬愛と協力が感じられる歌詞内容を重視しました。(第3号)	・下巻p.78-79
	○我が国の自然や四季の美しさ、暮らしとの関わりを感じ取れる点を重視しました。(第4号、第5号)	・上巻p.84-85 ・下巻p.84-85
	○国際社会の平和に寄与する歌詞内容を重視しました。(第5号)	・上巻p.74-76
〈鑑賞〉	○我が国の伝統音楽の特徴を感じ取れるものを重視しました。(第5号)	・上巻p.48-57 ・下巻p.42-49
	○郷土の音楽や芸能など、我が国の伝統と文化を尊重する点を重視しました。(第5号)	・上巻p.58-61
	○他国を尊重し、音楽文化の共通性や固有性を感じ取れる教材の充実を図りました。(第5号)	・下巻p.50-52
〈共通教材〉 「日本の歌 みんなの歌」	○写真や資料を配し、我が国の自然や四季の美しさを大切にする気持ちを育むよう配慮しました。(第4号)	・上巻p.16-26 ・下巻p.10-19
国歌「君が代」の扱い	○歌詞や楽譜が読みやすい見開き構成とし、「細石」の写真や歌詞の大意を掲載しました。(第5号)	・上巻p.86-87 ・上巻p.86-87
	○自国や他国の国歌が演奏される場面をスポーツ大会の写真で表し、国歌が担う国際的な役割を示すようにしました。(第5号)	・上巻p.86-87 ・上巻p.86-87

3. 対照表の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

人権教育・特別支援教育

専門家による校閲を受け、全ての人にとっての学びを保障する「ユニバーサルデザイン」の観点に立って編修しました。

人権教育への配慮

人権を尊重し、あらゆる差別やジェンダーなどについても配慮しています。

カラーユニバーサルデザインへの配慮

紙面全体、文字や図版については、色の組み合わせや濃淡の工夫、また罫線や記号・番号、文字の補助を施すなど、色覚の多様性を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。



ユニバーサルデザインフォントの使用

紙面でもデジタル画面でも、見やすく、読みやすいユニバーサルデザインフォントを要所に使用しています。



ESD・SDGsへの取り組み

ESD・SDGsへ対応した教材を設定し、専門家による校閲を受け、関連する内容をマークで示しました。

上巻p.74「HEIWAの鐘」では、歌詞内容から、平和と公正についての意識づけが図れます。下巻p.2「With My Heart 音楽はメッセージ」では、学びへの誘いを示すメッセージから、質の高い教育を行きわたらせることへの意識づけが図れます。下巻p.66「音楽のチカラで人と社会を未来へつなぐ」では、アウトリーチと教育活動から、質の高い教育を行きわたらせることと、住み続けられるまちづくりへの意識づけが図れます。下巻p.78「世界がひとつの家族のように」では、歌詞内容から、不平等をなくすことと、パートナーシップで目標を達成することへの意識づけが図れます。

ICTを活用した個別最適な学習への配慮

まなびリンク

紙面上の二次元コードを通じた、良質なデジタルコンテンツ（動画、音声、ワークシート）の活用により、学習への意欲を高め、学びを活性化し、確かなものにすることができます。

教科書の紙面では、二次元コード中央のピクトグラム「見る」「聴く」「記録する」が目印です。
※インターネット環境によって、ご家庭など校外からもアクセスが可能です。



見る（動画）



聴く（音声）



記録する（ワークシート）

コンピュータ（タブレット型等）の活用

発達段階に応じて、コンピュータ（タブレット型等）を効果的に活用できる学習活動を設定しています。

デジタル教科書・教材の発行

教科書と同内容の学習者用デジタル教科書や、動画や音声などを追加した学習者用デジタル教材及び、指導者用デジタル教科書（教材）を発行します。

今日的な教育課題（カリキュラム・マネジメント）への対応

“比べてみよう”で結びつけられた教材を活用すると、曲想や音楽の構造などを比較して学びを広げることができます。そして、すすんで学び合うための活動例〈Active!〉、歌うためのワンポイント・アドバイス〈Sing! Sing!〉、声や楽器を取り入れた活動〈Let's Try!〉、合唱曲集〈歌のアルバム〉を組み合わせることで、地域や学校ごとのカリキュラムへの対応が可能です。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-97	中学校	音楽科	音楽（一般）	第2・3学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	音楽017-83 音楽017-84	中学音楽2・3上 音楽のおくりもの 中学音楽2・3下 音楽のおくりもの		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色 1

音楽を愛好する心情を育み、豊かな情操を養う教材と学習を設定しています。

音楽的な見方・考え方を働かせた学習を推進する紙面構成

活動のポイント〈音楽的な見方・考え方のヒント〉

題材名
〈育成を目指す資質・能力〉

曲想や構造などを比較しながら学びを広げる教材
(p.24「旅立ちの日に」)

下巻p.26-27

生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力の育成

下巻p.66-67

能は、髪物（かつらもの）の「羽衣」と修羅物の「敦盛」を学習

SDGs

「質の高い教育をみんなへ」

「住み続けられるまちづくりを」と関連

54

55

上巻p.54-55

特色 2

学習の見通しがもて、学びを深めます。

指導のねらいに照らして適切な教材を、学びが深まる構成や配列でご提示

[illegible]

我が国の伝統的な音楽と諸外国の音楽から精選した、曲の特徴を理解して、曲種に応じた発声で歌う教材

特色 3

先生方と生徒の一人一人に寄り添って、ご授業を支えます。

表現及び鑑賞の幅広い活動の支えになる、見やすく整理されたデザイン

多彩な楽器が登場する鑑賞教材では、楽器の特徴を捉えたイラストと、巻末の写真資料で詳しく確認できます。

学習に役立つ情報を集めたウェブサイト
〈まなびリンク〉で、各楽器の動画と音声
の視聴もできます。

[illegible]



検討の観点と内容の特色

観点	内容の特色（該当箇所掲載）
知識及び技能の習得	・[共通事項] に示された「音楽を形づくっている要素」を手がかりに学習を進めることを示し（上巻p.9、p.62、下巻p.9、p.53）、見開き左端に題材を表しました（上巻p.10－59、下巻p.10－52）。
思考力、判断力、表現力等の育成	・[共通事項] に示された「音楽を形づくっている要素」をもとに、音楽の魅力を感じ取ったり、思いや意図を生かして表現したりできるよう、教材や扱い方に配慮しました（上巻p.12－14他、下巻p.10－19他）。
主体的・協働的で深い学び	・生徒が主体的・協働的に学習を進め、すすんで学び合うための活動例を示しました（上巻p.14、p.23、p.43、下巻p.19）。
系統性	・1年間の学習の流れを領域・分野ごとに「学習MAP」として表しました（上下巻p.8－9）。「学習MAP」では、領域・分野相互のつながり方も示し、更に学年相互のつながりも配慮しました。
配列・分量	・精選された教材を適切に扱える分量で、〈題材〉〈活動のポイント〉と合わせて配列しました。
歌唱教材	・音域、長さ、歌詞が発達段階に適合するように、教材を精選しました。合唱形態は、導入から混声四部まで配慮をしました。
創作教材	・思いや意図を生かして創作ができるよう、活動の手順を示しました。手順の補完は、キャラクターが吹き出しで示すなどの配慮をしました。
鑑賞教材	・聴き取ったことや感じ取ったことを整理しながら進める学習に適した教材を、譜例、写真、イラストと併せて示しました。
伝統・文化の尊重	・歌唱共通教材では、歌詞から想像される情景を表す写真や資料を掲載しました（上巻p.16－23、下巻p.10－19）。 ・わが国の伝統音楽の特徴と多様性について配慮しました（上巻p.48、p.52、p.58、下巻p.42、p.48）。
国際理解	・英語歌詞の教材を扱いました（上巻p.82、下巻p.22）。 ・日本と諸外国の音楽の、共通性と固有性を感じ取れるように配慮しました（下巻p.42－52）。
生活や社会とのつながり	・音楽著作権について示しました（上巻p.64－65）。 ・アウトリーチと教育活動について示しました（下巻p.66－67）。
教育基本法との対応	・第二条第1号～第5号に適合するように編修しています（教育基本法との対照表をご参照ください）。
ICT機器の活用	・紙面に掲載した二次元コードで、生徒の使用する端末からインターネットを使って容易に閲覧できる動画・音声・テキストの資料〈まなびリンク〉を用意しています。
特別支援教育・ユニバーサルデザイン	・専門家による校閲を受け、全ての人にとっての学びを保障する「ユニバーサルデザイン」の観点に立って編修しました。
ESD・SDGsへの取り組み	・平和と公正について意識できる歌詞内容の教材を掲載しました（上巻p.74－76）。 ・質の高い教育を行きわたらせることを意識できるメッセージを掲載しました（下巻p.2－3） ・質の高い教育を行きわたらせることと、世界の文化遺産保護を意識できる活動を示しました（下巻p.66－67）。 ・人や国の不平等をなくすことと、パートナーシップで目標を達成することについて意識できる歌詞内容の教材を掲載しました（下巻p.78－79）。
文字、印刷、製本	・文字は見やすさを第一義に、字体、字間、行間に配慮しました。 ・印刷は鮮明さと見やすさを、製本は長期の使用に十分に耐えられることを第一義に取り計らいました。

2. 対照表（上巻）

教材 (◎…鑑賞教材)	該当箇所	A 表現												B 鑑賞						共通事項		他教科 との 関連		
		(1) 歌唱					(2) 器楽				(3) 創作			(1) 教材						(1)				
		ア	イ		ウ		ア	イ		ウ	ア	イ		ウ	ア			イ			ア		イ	
			(ア)	(イ)	(ア)	(イ)		(ア)	(イ)			(ア)	(イ)		(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)				
生命が羽ばたくとき	p.10～p.11	○	○			○															○	○		
You Can Fly!	p.12～p.13	○		○		○															○	○		
浜辺の歌	p.16～p.19	○	○		○		○	○		○											○	○		
早春賦	p.20～p.22	○	○		○																○	○		
旋律のまとまり	p.23	○	○		○																○	○		
花の街	p.24～p.26	○	○		○																○	○		
翼をください	p.27	○	○			○															○	○		
そよ風の中で	p.28～p.29	○	○			○															○	○		
この星のどこかで	p.30～p.31	○	○			○															○	○		
リズムパターンをつくろう	p.32～p.33						○		○	○		○		○	○						○	○		
平調子の特徴を生かして 音楽をつくろう	p.34～p.35						○		○	○		○	○		○						○	○		
◎小ワザ ト短調	p.36～p.39															○	○		○	○		○	○	
◎交響曲第5番 ハ短調	p.40～p.43															○		○	○	○		○	○	
◎ボレロ	p.44～p.46															○		○	○	○		○	○	
◎組曲「惑星」から「火星」	p.47															○		○	○	○		○	○	
◎雅楽「越天楽」	p.48～p.50															○	○		○	○	○	○	○	
唱歌を用いて「越天楽」を体験しよう	p.51	○		○	○		○		○		○										○	○		
◎能「羽衣」キリから	p.54															○	○	○	○	○	○	○	○	
◎能「敦盛」キリから	p.55															○	○	○	○	○	○	○	○	国語
能の音楽を体験しよう	p.56～p.57	○		○	○		○		○		○											○	○	
◎郷土の音楽や芸能	p.58～p.61																○	○		○	○	○	○	
◎どんな特徴があるかな？ アルルの女 第1組曲 前奏曲	p.62～p.63															○			○			○	○	
知らない世界を	p.68～p.69	○	○			○																○	○	
語りあおう	p.70～p.71	○	○			○																○	○	
大切なもの	p.72～p.73	○	○			○																○	○	
HEIWAの鐘	p.74～p.76	○	○			○																○	○	社会
VOICES	p.77	○		○		○																○	○	
時計台の鐘	p.78	○	○			○																○	○	
雪の降る街を	p.79	○	○			○																○	○	
Dear Friend	p.80～p.81	○	○			○																○	○	
アメージング・グレイス	p.82	○		○		○																○	○	英語
ほたるの光	p.83	○	○			○																○	○	
故郷（混声三部合唱）	p.84～p.85	○	○			○																○	○	
君が代	p.86～p.87	○	○	○	○																	○	○	

3. 対照表（下巻）

教材 (◎…鑑賞教材)	該当箇所	A 表現												B 鑑賞						共通事項		他教科 との 関連			
		(1) 歌唱					(2) 器楽				(3) 創作			(1) 教材						(1)					
		ア	イ		ウ		ア	イ		ウ		ア	イ		ウ	ア			イ				ア	イ	
			(ア)	(イ)	(ア)	(イ)		(ア)	(イ)	(ア)	(イ)		(ア)	(イ)		(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)						
花	p.10～p.15	○	○			○																○	○		
荒城の月	p.16～p.17	○	○			○																○	○		
フレーズと形式	p.19	○	○			○																○	○		
帰れソレントへ	p.20～p.21	○			○	○																○	○		
Top of the world	p.22～p.23	○			○		○															○	○	英語	
旅立ちの日に	p.24～p.25	○	○				○															○	○		
ぜんぶ	p.26～p.27	○	○				○															○	○		
指揮をしてみよう	p.28～p.29	○	○				○															○	○		
言葉のリズムや抑揚を 生かして表現してみよう	p.30～p.31										○			○	○							○	○		
CMソングをつくろう	p.32～p.33										○	○			○							○	○		
◎ブルタバ (モルダウ)	p.34～p.36															○	○			○	○		○	○	
◎交響詩「フィンランディア」	p.37															○	○			○	○		○	○	
◎オペラ「アイダ」から 第2幕第2場	p.38～p.41															○	○			○	○		○	○	
◎歌舞伎「勧進帳」	p.42～p.45						○	○			○					○	○			○	○	○	○	○	
長唄「勧進帳」をうたおう	p.46～p.47	○			○	○		○			○	○										○	○		
◎文楽「義経千本桜」から	p.48～p.49															○	○			○	○	○	○	○	
◎世界のさまざまな芸能や音楽	p.50～p.51																○	○			○	○	○	○	
表現の仕方を調べてみよう	p.52																○	○			○	○	○	○	
たしかな一歩	p.70～p.71	○	○				○															○	○		
記念日～希望のボタン～	p.72～p.73	○	○				○															○	○		
椰子の実	p.74	○	○			○																○	○		
火の山の子守歌	p.75	○	○				○															○	○		
地球の息吹につつまれて	p.76～p.77	○	○				○															○	○		
世界がひとつの家族のように	p.78～p.79	○	○				○															○	○	社会	
仰げば尊し	p.80	○	○				○															○	○		
さようなら	p.81	○	○				○															○	○		
大地讃頌 (カンタータ「土の歌」から)	p.82～p.83	○	○				○															○	○		
故郷 (混声四部合唱)	p.84～p.85	○	○				○															○	○		
君が代	p.86～p.87	○	○	○	○																	○	○		

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-97	中学校	音楽科	音楽（一般）	第2・3学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	音楽017-83 音楽017-84	中学音楽2・3上 音楽のおくりもの 中学音楽2・3下 音楽のおくりもの		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
下巻 68	音の三要素	2	○内容の取扱い 2-(1)-ア 各学年の「A表現」及び「B鑑賞」の指導 (上記の項目では、自然音や環境音について記されているが、本コーナーでは、音を聞き分ける際に重要な要素のうち、「音量」「音高」「音色」の物理的な性質についてその原理を解説した。)	1
合 計				1

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容